

第 25 回日中韓財務大臣・中央銀行総裁会議

共同メッセージ(仮訳)

【2025 年 5 月 4 日 イタリア・ミラノ】

1. 我々は、中国の藍仏安財務大臣の議長の下、第25回日中韓財務大臣・中央銀行総裁会議をイタリア・ミラノで開催した。
2. 我々は、外的要因が続く中において、三か国間の協力が経済成長を持続させる上で一層重要となっていることを認識する。この文脈において、我々は、成長の確保、悪影響の最小化、そして将来のショックへの備えのため、経済・貿易関係の強化に引き続き取り組んでいく。また、不確実性や様々な課題がある中においても継続されてきた25年にわたる三国間会合の意義を改めて認識しており、本会合が金融協力の強化に大きく貢献してきたことを評価する。我々は、今後も大臣・総裁級や次官級、実務レベルを含む様々なチャネルを通じて、地域及び三国間の金融協力を強化していく。中国、日本、韓国は、ASEAN+3財務プロセスにおける協力と意思疎通を更に深化させ、ASEAN諸国と共に力強い回復と持続可能な成長の実現を目指す。
3. 我々は、世界・ASEAN+3地域経済の現下の動向や見通し、及び台頭するリスクや課題への政策対応について意見交換する。我々は、地域経済がこの不確実な環境を乗り越えるうえでのASEAN+3財務プロセスの重要な役割を認識し、主に、チェンマイ・イニシアティブ(CMIM)、AMRO、アジア債券市場イニシアティブ(ABMI)、災害リスクファイナンス(DRF)、ASEAN+3財務プロセスの戦略的方向性の下でのイニシアティブ、及び本年の優先議題として採用された、財政政策対話の促進、戦略的方向性の改訂、及び政策調整インストルメントの模索を通じて、地域金融協力を更に強化することに合意した。
4. 昨年、ASEAN+3地域においては、力強くかつ強靱な経済成長が見られた。地域経済は、2023年の4.4%の成長に続き、2024年には4.3%成長した。また、日中韓も、2024年はそれぞれ安定的な成長を実現した。2024年後半における不安定性の高まりにもかかわらず、ASEAN+3地域の金融市場は引き続き良好に機能し、柔軟な為替レートと潤沢な外貨準備に支えられ、対外セクターは引き続き強靱であった。
5. 貿易保護主義の高まりは、世界貿易への重荷となり、経済の分断を招き、地域の貿易、投資、及び資本フローに影響を及ぼし得る。短期的な見通しもまた、世界的な金融環境の引き締め、主要貿易相手国における成長の減速、及び投資フローの減少を含む他の外的リスクにも影響され得る。

6. 我々は、不確実性の高まりを乗り越えて行く中で、協力の深化を呼びかける。我々の目下の政策上の優先課題は、保護主義の高まりや世界的な金融市場の不安定化を含む短期的な課題に取り組むための柔軟性を維持しつつ、長期的な強靱性を高めることである。財政面では、持続的な成長に的を絞った支援を継続しながら、政策バッファーを再構築し、構造改革を実行することを意味する。我々は、また、国内環境に応じて金融政策を慎重に調整する。我々は、外的ショックに対するバッファーとして為替レートの柔軟性を維持する。重要なことは、地域経済は、主に堅調な消費と外需内需が原動力となっているということである。
7. 不確実性の高まりと長期的な構造変化を背景に、我々は、世界貿易機関を中核とする、ルールに基づく、無差別的で、自由で、公正で、開かれた、包摂的で公平かつ透明性のある多角的貿易体制に対する我々のコミットメントを再確認する。我々は、マクロ経済政策対話を強化し、地域金融協力を推進し、安定かつ円滑な産業・サプライチェーンの確保を通じて、地域経済及び金融の安定を共に維持していく。我々は、地域的な包括経済連携(RCEP)協定の着実な実施を全面的に支持する。
8. 我々は、国際機関に対し、多国間主義を堅持し、自由貿易を推進するとともに、貿易摩擦が世界経済に及ぼし得る影響について分析・監視し、発生しうる負のショックへの対応に向けた政策助言を通じてメンバーを支援することを強く求める。我々は、地域内の貿易及び投資フローの一層の促進を通じて、外的ショックに対する地域の強靱性を高め、既存及び新たな課題への適応を図り、持続可能で公平な経済発展を支えていく。我々は、金融市場の相互関連性を踏まえ、地域金融市場の動向を注視し、不確実性が高まる中であっても、我々の金融システム及び市場の強靱性を維持するという決意とコミットメントを再確認するとともに、急速に変化する情勢を踏まえ、メンバー国間の開かれた意思疎通を維持していく。
9. 我々は、WGに対し、更なる進展を得ることを慫慂する。我々は、2025年のASEAN+3財務政策対話を歓迎する。我々は、「財政の持続可能性を維持した成長促進」及び「人口高齢化への対応」というメンバー国共通の関心事項である2つの財政政策のテーマについて、メンバー国の事例集及び財務大臣間での限定会合という形式で初めて意見交換が行われたことを評価する。
10. 我々は、経済及び金融情勢の変化を認識し、2019年に採択された「ASEAN+3財務プロセスの戦略的方向性」を見直し、更新する重要性に合意する。我々は、「ASEAN+3財務プロセスの戦略的方向性の更新に関する指針文書」を承認するとともに、専門家パネルの設置を歓迎し、今年末の代理級会合と、続く2026年5月の

ASEAN+3財務大臣・中央銀行総裁会合において、改訂版の戦略的方向性が採択されることを期待する。

11. 我々は、2024年にトビリシで開催されたASEAN+3財務大臣・中央銀行総裁会合において大臣及び総裁から指示された政策調整インストルメントの検討作業に関する進展を歓迎する。我々は、自主的かつ拘束力を持たない制度として、構造改革改善・レビュー支援インストルメント(SPIRIT)を導入することを承認する。SPIRITは、メンバー国の開発戦略及びAMROの分析に基づき、構造改革の支援のために事前に定められたテーマ別技術協力プログラムを提供する試行的なプロジェクトとして開始される。我々は、この制度の実現にあたってのAMROの支援を称賛し、AMROに試行的プログラムを支援するよう指示する。我々は、AMROの中国信託基金からの資金支援に感謝する。我々は、メンバー国が本取組の本格導入を検討する前に、今後数年のうちにSPIRITの有効性について包括的な評価が行われること、及びメンバーが合意する場合にはSPIRITを財政インストルメントとする可能性について検討されることを期待する。
12. 2010年に締結されたCMIMの契約書の15周年を記念し、我々は、CMIMをグローバルな金融セーフティネットの重要な構成要素である効果的な地域金融セーフティネットとして発展させていくことへの強固なコミットメントを再確認する。この観点から、我々は改正CMIM契約書を承認するとともに、全ての大臣及び総裁の署名を前提とした速やかな発効を期待する。本改訂は、CMIMの下で選択通貨として適格な自由利用可能通貨(FUC)が導入された緊急融資ファシリティ(RFF)の創設、及びCMIM契約書の第2回定期見直しの結果を反映したものである。我々は、CMIM契約書の改訂に沿って、改訂版CMIM運用ガイドライン(OGs)を承認した代理を称賛する。我々は、この新たなCMIMファシリティは、パンデミックや自然災害といった突発的な外生ショックに対応するための緊急対外収支ニーズが生じた際に、メンバー国が緊急融資に迅速にアクセスすることを可能とすることで、地域の強靱性を高めると確信する。
13. 我々は、グローバル金融セーフティネットを更なる補完を視野に、CMIMから払込資本構造(PIC)への移行を模索する、代理の継続的な努力を称賛する。我々は、移行作業を進める課長級会合を技術的に支援する観点から、払込資本の資金構造のための作業部会の設立を歓迎する。我々は、また、外貨準備認定に関するIMFとの議論において、顕著な進展と多大な努力があったことを認識する。我々は、CMIMにおける払込資本構造の絞り込みに関する課長級会合報告書を承認し、代理による払込資本構造のモデルの選択肢の絞り込みにおける進捗を歓迎するとともに、ASEAN+3地域のニーズに最も適合するPICオプションの評価基準に基づ

き、今後はIMF型モデルに重点を置いて検討を進めることに合意する。特に、我々は、代理に対して、2025年の後半及びそれ以降に、払込資本構造への移行に向けて解決すべき主要課題について、IMF型モデルを基礎として検討を進めるよう、指示する。

14. 我々は、IMFデリンク部分(IDLP)の見直しにおいて、IMFデリンク 部分の即応性調査の結果を含む、IMFデリンク部分の見直しにかかる進展を認識する。我々は、これに基づき、代理に対し、IMFデリンク部分の潜在的な引き上げに関する将来の議論に資するよう、客観的評価手法の更なる改善とともに、議論を継続することを指示する。我々は、CMIMIにおける現地通貨(LCY)建て貸付に関する統一的な現地通貨のマージン構造の開発に向けた指針を代理が承認したことを歓迎し、承認された指針に基づき新たなマージン構造を開発するように慫慂する。我々は、2024年に実施された第15回テストランが成功裏に完了したことを歓迎する。我々は、第16回テストランに期待する。
15. 我々は、サーベイランス能力の強化に向けたAMROの絶え間ない努力を認識し、AMROに対し、メンバー国が不確実性が一層高まるグローバルな環境を乗り越えるために、引き続きリスクと課題を注視し、時宜を得た政策助言を提供するよう慫慂する。我々は、戦略的方向性2030の実施に沿った組織能力の強化に向けたAMROの取組の進展並びに業績評価フレームワーク2025-2030の改訂を称賛する。我々は、過去3年間にわたりAMROの発展を牽引してきたり事務局長の力強いリーダーシップに対し、心からの敬意と感謝の意を表明する。我々は、次期事務局長である渡部康人氏を歓迎し、地域のマクロ経済及び金融の安定確保に向けたAMROの役割を更に強化していくことを期待する。AMROが新しいリーダーシップのフェーズに入るに際して、我々は、AMROがASEAN+3金融プロセスの主要な柱であり続けることを確たるものにするため、AMROの継続的な成長と発展を支援することへのコミットメントを再確認する。
16. 我々は、「ABMI中期ロードマップ2023-2026」の下での進捗を歓迎する。国際金融市場の不確実性が続く中、機能的な現地通貨建て債券市場は地域の金融安定の礎であり続ける。我々は、信用保証・投資ファシリティ(CGIF)の15周年を祝福する。我々は、ワン・ホンウェイCEOのリーダーシップの下、過去3年間におけるCGIFの前例のない事業成長を称賛する。我々は、CGIFが発行した2つのレポートを歓迎する。これらは、2010年以降のCGIFの運営実績と、ASEAN+3現地通貨建て債券市場の進展、そして今後の政策的アプローチについて体系的にレビュー・評価したものである。我々は、また、現地通貨建てのサステイナブル・ボンドの発行を促進し国内市場を創出するとともに、より広範なサステイナブル・ファイナンスの

コシステムの発展に取り組んでいることを認識する。この取組には、必要な規制の枠組み、地域の認証機関、サステナビリティの開示を含むサステナブル・ファイナンスのエコシステムの発展とともに、現地通貨建てのサステナブル・ボンドの発行を増加するためのABMIの継続的な努力を認識する。

17. 我々は、東南アジア災害リスク保険ファシリティ(SEADRIF)と世界銀行やアジア開発銀行(ADB)、アジア開発銀行研究所(ADB)、GAIPを含む多国間パートナーの支援の下、DRFIの推進において達成された進展を賞賛する。我々は、2026～2028年のDRFIロードマップの柱を示したコンセプトノートを代理が承認したことを認識する。我々は、本年末の代理級会合においてロードマップが承認され、2026年5月のASEAN+3財務大臣・中央銀行総裁会議において承認されることを期待する。
18. 我々は、作業部会(WG)によるものを含む、ASEAN+3金融協力の深化・拡大における大きな進展を歓迎する。我々は、主要なデジタル金融関連のリスクを特定した「デジタル金融危機と我々の課題: 予防と備え」と題した報告書を含む、WG4の金融デジタル化に関する業務の進捗を認識する。我々は、WG4を2026年まで延長すること、及び特に地域のデジタル金融の安定性に焦点を当てた対象範囲の拡大を歓迎する。
19. 我々は、2025年ASEAN+3財務大臣・中央銀行総裁会議の共同議長としての中国とマレーシアのリーダーシップに感謝する。加えて、2026年のASEAN+3財務大臣・中央銀行総裁プロセスの共同議長となるフィリピン及び日本と協力していくことを期待する。
20. 我々は、日中韓3か国財務大臣・中央銀行総裁会合は、強化された政策対話及び協調のための効果的な場として機能し続けると信じ、2026年にウズベキスタン・サマルカンドで再会することを決めた。